

ゴキブリ駆除は、ジェルの時代へ



MAXFORCE

医薬品

マックスフォース® ジェルK



Bayer Environmental Science

ゴキブリ駆除は、ジェル剤の時代へ

マックスフォース ジェルKは、施工が簡便なジェルタイプ。
面倒な什器・備品の片付けや洗浄なども一切不要。営業時間中でも目立たず、スピーディに施工できます。
飛び散らないジェル剤なので、環境にも優しい製品です。
持続効果も長く、最小限の薬剤量で施工できるのでコストパフォーマンスの面でもお得。
スプレー・噴霧式のデメリットを解消しました。気になる臭いもなく、24時間営業のお店でも施工できるので、飲食店はもちろん、コンビニ、ホテル、病院などにも最適です。

MAXFORCE
マックスフォース
ジェルK 医薬品

害虫駆除専門業者用 ゴキブリ駆除用ベイトジェル

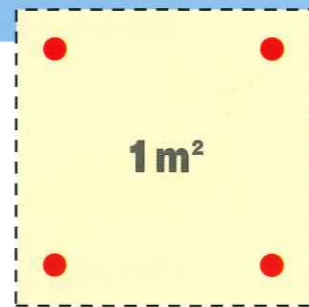
(30g入・250g入)

特長

- 有効成分ヒドラメチルノンは、食毒専用として開発されました。
- ジェルKを食べたゴキブリだけでなく、その糞や死骸を食べたゴキブリまで駆除します。
(二次的殺虫効果)
- チャバネゴキブリ・クロゴキブリ・ヤマトゴキブリ等ゴキブリ駆除のPCO専用薬剤です。
- 液剤処理と違ってジェルタイプになっていますので環境への影響が少なく、散布後の臭い・汚れの心配がありません。
- 施工前の大掛かりな準備や後始末の必要がありません。施工作業の省力化とコスト削減になります。また、定期的な駆除に最適です。

使用方法

- 屋内屋外のゴキブリのいそうな場所にスポット処理してご使用下さい。
施工場所は、ゴキブリの通り道、割れ目、隙間等やその周辺です。
- ゴキブリの繁殖度や種類によって処理量を変えて下さい。チャバネゴキブリには、少量ずつ、数多くスポット処理する方が効果的です。
- 直射日光や水は、ジェルの効果を損ないますので注意して下さい。
- 施工面の油汚れや、ほこりを取り除いてからご使用下さい。



1m²当たり1~2gをスポット処理して下さい。
1スポットは0.25~0.5gで処理して下さい。

ベイトガン

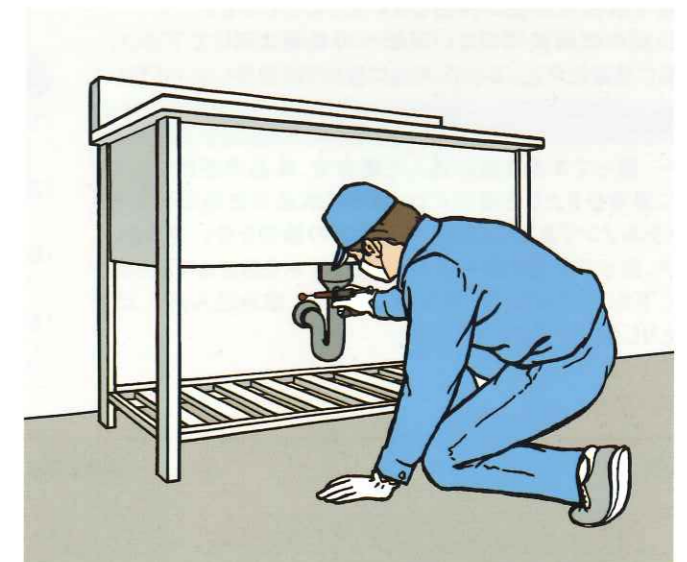
●ベイトガンを使用する場合

ベイトガンのドライブロッド(バー)を目一杯引きます。ロッドの先端がマックスフォースジェルKのカートリッジの底部にしっかり密着するように、押し付けてセットします。カートリッジ先端のプラスチックを折って取り外し、処理用の管を取り付けます。ガンの引き金を静かに引いて下さい。



使用場所

- 食堂・レストラン等の厨房のゴキブリ駆除



MAXFORCE
マックスフォース
ジェルK

●有効性分……………ヒドラメチルノン 2.15g (100g中)

●効能・効果……………ゴキブリの駆除

●包装……………30g入 (30g入×4本×10箱)
250g入 (250g入×10本×3箱)

●用法・用量……………本品をゴキブリの発生 の程度により、1～2g/m²の割合でゴキブリの出没する場所 (例えば飲食店の調理場、事務所、工場、倉庫、ゴミ貯蔵所等)において、壁の隙間、冷蔵庫の下、裏、棚等の水のかからない場所に、人が直接触れないように適切な器具を用いてスポット処理して下さい。
1スポットは0.25～0.5gとし、なるべく小さなスポットで多数の箇所に処理して下さい。

●安全性……………[ヒドラメチルノンとして]

●急性経口毒性 LD₅₀:1,300mg/kg (ラット ♀)

●魚毒性 LC₅₀:0.39mg/kg (コイ 48h)

ヒドラメチルノンは蒸気圧が低く、吸入による危険性はありません。

使用上の注意

1.してはいけないこと

- (1) 訓練を受けた害虫駆除専門業者 (消毒業者) 以外は使用しないで下さい。
- (2) 定められた用法及び用量を守って下さい。
- (3) 幼小児やペットが容易に近づける場所で使用しないで下さい。
- (4) 食品、食器、飼料等に本品が付着しないようにして下さい。
- (5) 皮膚や衣服に本品が付着しないようにして下さい。
- (6) 殺虫剤の噴霧後間のない区域への処理は避けて下さい。
- (7) 本品に忌避性が生じるので、本品に殺虫剤を噴霧しないで下さい。

2.相談すること

- (1) 万一、誤って本品を飲み込んだ場合や、本品の使用により身体に異常をきたした場合には、直ちに本品の有効成分がヒドラメチルノンであることを告げて、医師の診療を受けて下さい。
- (2) 万一、誤って本品を飲み込んだ場合は、水を飲ませて吐き出させて下さい。その場合、意識のない時は、飲み込んだり、吐かせたりしないで下さい。

3.その他の注意

- (1) 使用の際は、ゴム手袋等の保護具を着用して下さい。
- (2) 使用後及び本品が手に付着した場合は、必ず石鹸及び水でよく洗って下さい。
- (3) 本品の有効成分は、魚類及び水生動物に対して強い毒性を示すので、本品及び空容器が河川や池等に入らないように注意して下さい。
- (4) 本品は洗浄で流失するので、頻繁に洗浄する場所には処理しないで下さい。

4.保管及び取扱上の注意

- (1) 容器に残った薬剤は密封し、他のものと区別して保管して下さい。
- (2) 幼小児の手の届かない、直射日光の当たらない乾燥した涼しい場所に保管して下さい。
- (3) 使用済みの空容器等は、幼小児が触れないようにするとともに、他に転用せず、自治体の指示に従って廃棄して下さい。
- (4) 保護具や使用した器具は、洗剤を使ってよく洗って下さい。

代理店名

®は登録商標

バイエルクロップサイエンス株式会社
エンバイロサイエンス事業本部
〒100-8262 東京都千代田区丸の内1-6-5
www.bayercropscience.co.jp